

広報 ニセコ

昭和52年2月1日発行

No. 180

ニセコ町役場総務課

きまりを守り、明るい社会をつくりましょう。

(ニセコ町民憲章)



たいせつに保存を
あとでお役に立ちます。

町-の-人-口

男……………2,384人
女……………2,524人
計……………4,908人
世帯数…1,326世帯
(51年12月末現在)

健康増進は毎日の食生活から

1月18日から22日まで、町民センターにおいて冬期料理講習会が開催されました。

この講習会は、不足がちな野菜を活用したバランス食と、冬期間の緑黄色野菜の簡易栽培方法を生活改良普及員を囲み、各自、野菜を持ち寄って行われました。

参加者は毎回、20名から30名が出席し、献立もミレパーいり酢ブタミミポリユームオムレツミ外3品で盛り合せも、色合いもよく口々に美味しいミと皆んな満足顔でした。

昭和52年 **2** 月号

ニセコ消防団新年出初式

消防団員を表彰

ニセコ消防団の新年出初式は六日、消防庁舎前広場において開催されました。
この出初式において、永年におたり消防活動に尽力された団員の方々が、つぎのとおり表彰されました。

- 北海道知事 永年勤続表彰
三〇年表彰 鎌田 信男
向井 三郎 片山 直義
二〇年表彰 山崎 政照
久保日出郎 松谷 栄
大場 利信
- 日本消防協会会長 永年勤続表彰
鎌田 信男
北海道消防協会会長 功績表彰
片山 直義

- 北海道消防協会会長 永年勤続表彰
三〇年表彰 清水 勝義
向井 三郎 片山 直義
一〇年表彰 森崎 義光
- 北海道消防協会後志地方支部俱知安分会会長 永年勤続表彰
二十五年度表彰 渡辺 昭次
十五年表彰 久々江 堅
萩野 俊雄
- ニセコ町長 永年勤続表彰
三〇年表彰 清水 勝義
向井 三郎 片山 直義
- ニセコ消防団長 優良消防団員表彰
今井 春実 山崎 政照
高橋 正義 岩田 稔雄
久々江 堅 矢橋 健雄

昭和51年火災発生状況

(羊蹄山ろく消防組合)

火災の状況は、件数で昨年の二倍の二十六件で損害見積額は減少しております。これは、大規模対象物の火災発生がなかつたためです。
建物火災二十一件中、全焼火災が十四件あります。これは、遠隔地の農村地帯に多発したこともありますが、発見と通報が遅れたため全焼に至つたものが多くあります。
焼死火災は、三件発生し、四名



昨年暮れの中央通の火事

の犠牲者がありました。そのほとんどが一酸化炭素中毒による煙死です。
火災を発見したら早く知らせ、早く逃げ出すことが大切です。
以上、火災発生が激増し、焼死者を伴つたことは、今後の課題であり、火災予防思想の啓発と予防調査の徹底を期す必要があります。

道産一家



火災発生件数 (山火事を含む)

| 町村別 | 火災 | 火事 | 焼失面積 建物(㎡) | 山火事 面積(アール) | 損害 見積額 千円 | 死者 | 傷者 |
|-----|----|----|---------------|----------------|-----------------|----|----|
| 俱知安 | 8 | 7 | 612.2 | 30 | 15,544 | | 2 |
| 蘭越 | 2 | 2 | 280.5 | | 6,098 | | |
| ニセコ | 5 | 5 | 363.7 | 464 | 2,931 | 3 | 3 |
| 真狩 | 3 | 2 | 154.3 | | 1,426 | | |
| 留寿都 | 3 | 3 | 30.5 | | 3,137 | | |
| 喜茂別 | 3 | 3 | 257.7 | | 3,553 | 1 | |
| 京極 | 2 | 3 | 173.3 | | 2,445 | | |
| 計 | 26 | 20 | 1,872.2 | 494 | 35,134 | 4 | 5 |

原因別件数

| 原因 | 火災 | 火事 | 騒 |
|--------------------|----|----|----|
| 石油、プロパン、電気器具の取扱不注意 | 6 | | |
| ストーブ、風呂たき等の取扱不注意 | 5 | | 2 |
| 子供の火あそび | 4 | | 2 |
| タバコの不始末 | 2 | | 5 |
| グラインダー等の火花 | 2 | | 2 |
| ストーブ、煙筒の過熱 | 2 | | |
| 火入、ごみ焼等の不始末 | 1 | | 5 |
| 危険物取扱不良 | 1 | | |
| 配線のスパーク | 1 | | |
| 不明 | 2 | | 4 |
| 計 | 26 | | 20 |



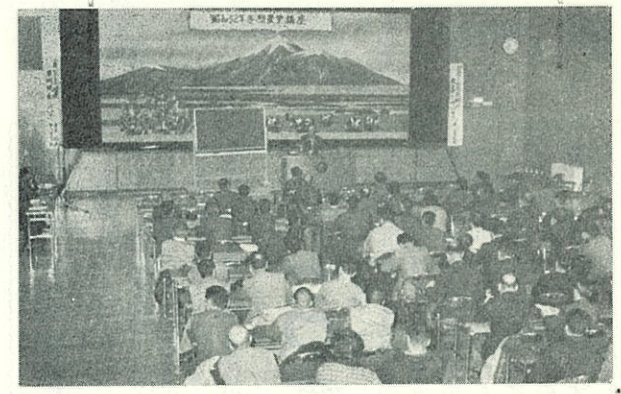
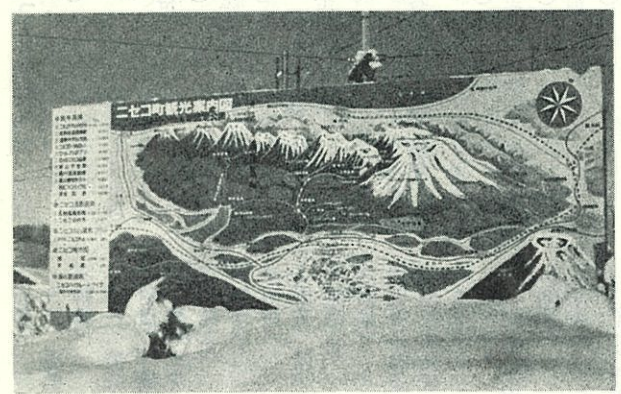
責任ある社会人に

広報ニセコの新年号でお知らせしました成人式は、一月十五日、成人の日に、公民館において開催されました。
出席者は、男十二名、女二十四名で、特に女性は、あてやかな振袖姿の女性がほとんどでした。
式は、教育委員長、町長、議長が祝辞をのべ、これに対し、成人者を代表して、本通十の横山三由紀さんが「責任ある社会人として郷土の発展につくします」と答辞をのべました。

このあと「幸福とは何か」というテーマで討論を行い、有意義な一日を過ごしました。

観光案内図が新しくなりました

ニセコ町観光協会では、駅前の観光案内図が、観光地の状況の変化にともない、このほど書き替えを行いました。
この観光案内図は、ニセコ町周辺の観光地の名称や道路など、ニセコ町を初めて訪れた観光客にも一目でわかるよう美しく、親切にかかれており、たいへん立派なものです。
皆さんも、物はためしと、一度見てはいかがでしょうか。



今年の営農計画は

冬期農業講座から

今後の営農計画の参考にしてもらおうと、今年も冬期農業講座を去る一月十二、十三日の二日間にわたって、町民センターにおいて開催されました。
昨年までは参加者が少なく、今年には開催がやぶまれておりましたが、冷害の影響で参加者が増え、二日間で延二百名が受講し、「現在の農業情勢」「これからの農業経営」等、広い分野に分け、講師の話に熱心に聞きました。

飲酒運転の絶滅を

- 酔うはずのない一杯が事故のもとです
- 飲んだら車に乗らないように
- 運転者には絶対飲ませないように



いよいよぼくも わたしも1年生

教育委員会では、ことしも小学校へ入学する、お子さんの名簿を作成しました。入学するお子さんは昭和45年4月2日から昭和46年4月1日まで生まれた方です。名簿にもれている方や、現在住所の変更になっている方、また健康の都合により入学できない子どもさんについては、早めに教育委員会へ連絡して下さい。

- *ニセコ小学校**
- (本通一) 沢田 定
 - (本通二) 青山 裕一
 - (本通四) 岩瀬 匡博 金沢 裕子
 - (本通五) 藤島 勝 坂本 知美
 - (本通六) 中川 圭人 及川 仁
 - (本通八) 岡田 功 川尻 寿雄
 - (本通十) 藤田 則之 坂本 祐紀
 - (本通十一) 竹内 清
 - (富士見) 木村 敬 野村みゆき
 - (有島団地) 久保久美子 千葉 晃子
 - 沢田 浩二 福家満美子
 - 竹本 銀代 竹本 典代
 - (本通団地) 木村 修 中居 紀之
 - 磯部 正幸
 - (中央一) 馬場かおり
 - (中央三) 八木沢孝子
 - (中央五) 大道 理枝
 - (松岡) 遠藤 光範
- (元町) 大野 勝弘 新居 信隆
- (新興) 林 美奈 水口 恵
- (有島一) 村田 敏 矢野 洋子
- (有島二) (有島三) 佐々木郁子 二階堂亮仁
- (別本) (西山) 田中しのぶ
- (北栄) 佐竹 淳一 高橋 真二
- (滝台) 浅田 陽子 穂山みゆき
- (温泉) 佐竹美桂子 小島 孝幸
- (豊里) 芳賀由香里 森田 敏裕
- (羊栄) 山崎由美子
- *近藤小学校**
- (宮田) 山崎由美子
- (小花井) 長友 高子
- 大橋 一幸 久保富美浩
- *福井小学校**
- (福井) 石山 真紀 土生恵理子
- (相馬) 本間 喜子
- *藤山小学校**
- (尾ノ上) 阿部 勝敏 吉原美恵子
- *昆布小学校**
- (西富) 今野 裕子 中山 智恵
- 波田 明美
- (昆布) 清川 利香 久保 直美

統計功労者に 感謝状

統計調査のため、永年にわたり統計調査員としてご尽力されまし たつきの方々に北海道知事から感謝状が贈られ、一月二十六日、伝達が行われました。

●二十年表彰
山森 初男 (有島)

●十年表彰
板敷 了幸 (東)
鈴木 岩松 (藤山)

●五年表彰
浜本 一夫 (福井)
菅原 正利 (羊蹄)

人名用漢字が追加に なりました

戸籍法施行規則の一部改正により、「当用漢字表」及び「人名漢字」以外に、人名に用いて差し支えない次の二十八字の漢字が追加されました。

記
佑・允・冴・喬・怜・悠・旭
杏・梓・梢・梨・沙・渚・瑠
瞳・紗・紘・絢・翠・耶・芙
茜・葵・藍・那・阿・隼・結

一口医学

乳房のしこりに触れたら

乳房にしこりができると、まず乳がんを疑いますが、ガンでないしこりもありますから、次の点に注意してください。

①しこりができて、それが痛み、熱のあるときには乳線炎の場合が多い。ガンのしこりは痛みません

②しこりが両方の乳房にできている場合も、多くはガンではありません。ガンは左か右か一方にできることが多い、それもお乳の上の外側にもつとも多くできます。

③しこりの数がいくつかある場合もガンではないでしょう。

④しこりが月経のときに大きくなつてはれ、月経が終わると小さくなつてしまふようなときに心配しすぎないための知識はもつていたいものです。

は、慢性乳線症が考えられます。もちろん例外もありますからおかしいと思つたら早く検査を受けることですが、いたずらに心配しすぎないための知識はもつていたいものです。

全町児童生徒交通安全作文コンクール

みんなで考えよう 「交通安全」

ニセコ中二年
遠藤 恭

今日では、「交通安全」を抜きにした、毎日の生活は、あり得ないと思います。私達のニセコ町は、もちろん、あらゆる町で、「ゆつくり走ろう北海道」「ゆつくり走ろうニセコ町」「飛び出すな、車は急に止まれない」「交通安全宣言の町」などの、種々なステッカーや標語、看板が目につきます。これは、現代の「交通戦争」を、どうにかして防止する為の、みんなの願いなのです。

しかし、それにもかかわらず、毎日、毎日の交通事故の「発生」はどうしたことでしょう。テレビ、新聞などで、「死亡、百四十六名」「悪質なひき逃げ運転」「無謀な運転」など「事故の恐ろしさ」「悲しさ」が報道される度に、僕の心は、とても暗くなります。

これは、加害者と被害者との関係ばかりでなく、みんなが真剣に考えなければならぬ重大な問題だと思えます。現在、「交通安全」と

いう言葉を、ただ他人に言われて「ああ、そうだ……」などと、うやむやに解つた様な気持ちで、毎日を通りかかっているのではないでしょうか。

「交通安全」の仕事に携わっている人を除くと、ほとんどの人は「困つた事だ」「気をつけよう」などと、自分自身の問題として深く、積極的に考えようとはせず、むしろ、「自分さえなんとかなければ、それでいい」という他人事として、おさえているのではないかと思います。

交通安全とは、交通機関が安全に運行され、単に、「事故が無い」「ことだ、という考えをして良いのか、ということなのです。もともと道路は、人間の歩く為のものであつたはずで、それが文明の急な発達によつて、「車の通る道路」に変化してしまつたのです。今や道路は、車が、わがもの顔で通る車優先道路になつてしまつてゐるのです。

そして、今の道路は、人間が、歩道や路側帯の無い、交通量の多い道路を命がけで、クヒやクヒしながら歩いてゐる、というのが現状ではないでしょうか。

ですから、「交通安全」とは「歩行者」が安心して通行できる状態に回復することが、本来の目的でなければならぬと思えます。その為には、道路の施設、設備

を一日も早く、充実しなければならぬことは当然であり、それは国、道、町の責任だと思えます。といつて、それまで、ただ指をくわえて見るだけでは、いつになつても、交通事故は絶えないでしょうし、車の増加によつて、なおのこと危険が増すことになりまふ。

ですから、「交通安全」の狙いは、「心の問題」として考える必要があります。いろいろな地域で開催されている。交通安全の集会も、パレードも、私達、国民一人一人に、交通安全の重要性を強く訴える為のものだと思えます。

しかし、一番大切なことは、車を運転する人、ドライバーの心掛けにあると思えます。

運転者は、いつも、歩行者優先の原則を忘れず、歩行者の立場に立つて運転すべきです。一寸油断すれば、自分の車が「走る凶器」になることを、はつきり自覚すべきだと思えます。「警察の取りまわり」があるから、気を付けて、気をつけないうという運転態度では、真に、ドライバーとして失格です。

「交通三悪」など、もつてのほかです。運転免許証は、ドライバーの「心のしるし」と考えるべきです。

一方、私達歩行者自身にも、大きな責任があるはずで、大

町の目録

- 1月 1日 新年交礼会
- 4日 ご用始め
- 6日 ニセコ消防団出初式
- 10日 教育委員会議
- 11日 選挙管理委員会
- 12日 13日 冬期農業講座
- 15日 成人式
- 18日 22日 料理講習会
- 21日 農業委員会総会
- 21日 寿大学
- 26日 農業基本調査員説明会
- 27日 例月出納検査

自動車運転免許証更新時講習会

とき 昭和52年2月10日 午後6時

ところ ニセコ町公民館講堂

有効期間 昭和52年2月10日から 昭和52年5月9日まで

雪道での交通安全

▼歩行者の皆さんへ▲

○道路が雪で狭くなっています。車の流れには十分注意して、右側を歩きましょう。

○飲むほどに、酔うほどに、気が大きくなつて「車がなんだ」といばつてみても、相手が車ではとても勝負はありません。また道路をよるめき歩くのも決して感心したものではありません。

○最近、飲酒しての歩行者事故が多くなつております。自分や家族の方を、不幸におとしいることにつながります。酔っぱらつて車の多い道路をふらつるのはやめましょう。

成人と国民年金

今年、全道で約九万人の若い方が成人式を迎えましたが、国民年金に加入し、老後の備えをすることも義務の一つです。

若いあなた方にとって、いまから老後のことなど他人ごとのように思っているかもしれません。しかし、いま、二十才のあなた方も四十年後には確実にお年寄りの仲間入りをします。若いときからの老後の準備を怠つて、その時になつてあわてるより、将来の生活設計をいまから着々と始めておかなければなりません。

現在、八つの年金制度があり、職業の種類によつて、このうちの

どれかの制度に必ず加入することが義務づけられております。

会社や工場に勤めている人、官公庁に勤めているサラリーマンといわれる人には、厚生年金、船員保険、各種共済組合があり、採用と同時に勤め先で加入手続きを済ませてくれます。

しかし、農林漁業従事者、商店経営者などの自営業者とその家族の人たちには国民年金制度があります。これに加入するためには加入者自身が届出をしなければなりません。

国民年金制度は、年をとつたときや不慮の事故に対し所得の保障をする年金制度で、他の年金制度に加入していない人は二十才になつたら必ず加入しなければなりません。

二十才になつて年金に加入する権利が得られたら、居住地の市町村から年金加入の案内が送られてきますので、自分の生活設計を着実に築くため、一日も早く加入の手続きをしましょう。

加入しますと、月額千四百円（四月から二千二百円）の保険料を六十才まで納め、六十五才から老齢年金が受けられます。また、加入期間中に病気やケガによる障害年金が、家庭の奥さんで不幸にして夫に先立たれ母子家庭となつたときには母子年金などが受けられます。

加入の手続きや国民年金のくわしい内容は役場社会係におたずねください。

テレビの受信契約を！

放送受信料公平負担のため、テレビをおもちのご家庭は受信契約をしていただくことになつております。カラーテレビにはカラー契約、白黒テレビには普通契約をして下さい。

また、受信料は前納されますとお得になります。

カラー契約 一ヶ月 七二〇円
六ヶ月 三、九〇五円（割引 三五五円）
一年 七、八一〇円（割引 七一〇円）

普通契約 一ヶ月 四二〇円
六ヶ月 二、三〇〇円（割引 二二〇円）
一年 四、六二〇円（割引 四二〇円）

ご協力ありがとうございました

才末助け合い義援金など……

才末助け合い義援金 五、〇〇〇円
黒川婦人部 一、二二〇円
大槻さかゑ 一八、〇〇〇円
議員協議会 一、六五八円
近藤小学校児童会 一、六五八円
ニセコ高等学校農業クラブ 五、五〇〇円
近藤校下婦人会 三、四〇〇円
あじさい会 二〇、二八二円
社会福祉寄附金 二〇、〇〇〇円
ニセコ町青年会議所 二、六〇〇円
新年交礼会 二、六〇〇円

第二回北海道雪の祭典が開催されます

冬を理解し、冬のすばらしさ、楽しさを求め、冬の生活を明るく豊かにするとともに、自然の美しさを道内外に広く紹介、宣伝して冬季観光レクリエーションを盛んにするために第二回「北海道雪の祭典」が次により開催されます。

○とき 昭和五十二年三月五日（十七）三月六日（日）

○ところ メイン会場Ⅱ 国設ニセコ国際ひらふスキー場
サブ会場Ⅱ ニセコ山系全スキー場

協賛会場Ⅱ 道内主要スキー場
場
協賛会場Ⅰ 道内主要スキー場
場
協賛会場Ⅰ 道内主要スキー場
場

○主な催し
・フリースタイルスキーショー
・ハンググライダーショー
・タイムススキーショー
・雪上花火大会

- ・アトラクション（郷土芸能・家族そろつて歌合戦・歌謡ショー・吹奏楽）
- ・第二回北海道雪の祭典大回転競技大会
- ・小中学生スキー競技大会
- ・SAJ公認バツヂテスト
- ・雪ダルマコンクール・遊覧馬そり
- ・食べ歩きコーナー・特産物即売コーナーの設置

おわび

広報ニセコ新年号四ページで公職者年賀あいさつ文中、ニセコ町農業委員会委員、大場勇さんは高木万吉さんの誤りにつき慎しんでお詫び申し上げます。

戸籍の窓口

12月21日から
1月20日まで

- ▶ご結婚おめでとう
- 菊地 和夫=八代 優子 (有 島)
- ▶お誕生おめでとう
- 木嶋 育朗 稔実 (有 島 2)
- 佐藤 寿枝 (有 島 団地)
- 佐藤 奈苗 順一 (小 花 井)
- 林 かおり 隆司 (み ず ぼ)
- 松原 智恵 登 (里 見)
- ▶おくやみ申し上げます
- 齊藤 ツギ 74才 (新 興)
- 葛西 タイ 91才 (本 通 島 5)
- 山森 虎松 74才 (有 本 1)
- 佐藤 瑠依 0才 (本 通 1)
- 戸沢 ソメ 79才 (本 長 布)
- 林 きむの 79才 (ニ セ コ)